

(参考様式5)

## 事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
長野県	200000	2	平成19年度	平成19年度
上田市	202037		～	～
麻績村	204463		平成21年度	平成21年度
活性化計画の区域				
長野県 上田市陣場地区・東筑摩郡麻績村 平成19年度長野県農村活性化計画は、上田市陣場地区及び麻績村を計画区域とし、遊休農地の解消により地域間交流の促進や農林水産物直売・食材提供供給施設を拠点とした地域産物の販売額の増加を図る。				

### 1 事業活用化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する遊休農地の解消	6.1 ha	4.4 ha	72.1 %	
地域産物の販売額の増加	54.82 % (9,500千円)	74.64 % (10,716千円)	136.2 %	

(コメント)

遊休農地の解消の6.1haについては、平成19年度から平成21年度までに造成整備する計画であったが、一部の計画値の造成が困難になり4.4haの遊休農地解消の達成率72.1%となった。 地域産物の販売額の増加については、地域の拠点となる農林水産物直売・食材提供供給施設を整備したことにより、目標値に対して136.2%の達成率となった。
---

### 2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
57 小規模農林地等保全整備	平成19年度 ・ 遊休農地の整備・復旧 4.4ha		(有)ラ・ヴィーニユ
81 農山漁村活性化施設整備附帯事業	平成20年度・21年度 ・ ワインセミナー・ワイン用ぶどう収穫体験 各年1回実施		
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
上田市	平成19年度	平成21年度	平成20年4月1日
事業の効果			
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 遊休農地の整備によりワインぶどうを導入し、良質なワイン用ブドウが収穫される園として生まれ変わりつつある。</li><li>・ 農業生産法人が事業主体となった遊休農地解消を伴う事業として、注目されている。</li><li>・ 当地区生産のブドウから醸造されたワインとして、ブランド化が期待される。</li><li>・ ワインブドウ園を核とした収穫体験や、ワインセミナーの開催による地域間交流が図られている。また、地元高校生の通年での作業実習の場として定着している。</li><li>・ 新しい雇用を生み出している。</li></ul>			

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
41 農林水産物直売・ 食材提供供給施設 81 農山漁村活性化施 設整備附帯事業	平成19年度 ・ 実施設計業務 平成20年度 ・ 直売施設1棟 A=67.96㎡ ・ 監理業務 ・ 機械器具費（冷蔵・冷凍設備、陳列棚、テント、 物販用机）		麻績村
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
麻績の市あさつゆ運営 管理組合	平成19年度	平成20年度	平成21年4月26日
事業の効果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>当該施設の供用開始から1年で、販売額が当初の目標額を上回った。これに伴い、農山漁村活性化の布石となる村内、県内、都市等との交流人口が計画策定年度より増加したと考えられる。供用開始から一年目の事業効果としては良好で今後の地域活性化、農山漁村の更なる活性化が期待される。</li> <li>当事業による施設のリニューアル化により、村内の農業者の期待と関心が高まり、計画策定当時の利用組合員86名に対し、現在129名まで増加しているところから、農林業生産に対する意欲の向上がうかがうことができ、今後の展開を大いに期待できる。</li> </ul>			

### 3 総合評価

(コメント)

遊休農地の解消を実施した上田市陣場地区は、7割以上の遊休農地が解消されたことにより、モデルケースとして注目されるまでになっている。定植されたブドウ全てが成木となるのに伴い、生産量・品質ともに向上が図られ、このぶどうで製造されるワインが丸子のブランドとして定着することが期待される。

農林水産物直売・食材提供供給施設整備により地域産物の販売額の増加を図った麻績村は、当初の目標に対して112%で達成できている。この施設を拠点とした、村内外に開催されるイベントへの参加により、麻績村農林業の知名度のアップを積極的に取り組み、地元の固定客（リピーター）の確保や地産地消による地域活性化が図られた。今後も地元産農林産物を提供することにより、消費者の信頼を得て、都市部との交流を図りながら地域産物の販売額及び交流人口の増加を目指すことが期待される。

### 4 第三者の意見

(コメント)

- 遊休農地の解消は、整備・復旧後の継続的な農作物作付けである。ワインぶどうは契約栽培であるため安定した経営が望める。今後は、費用対効果があるように推進指導をすること。
- 農林水産物直売・食材提供供給施設の整備カ所が、IC出口や国道沿い等の立地として好条件である。今後は消費者の需要に応えられる商品を揃えられるように努力を期待する。